

# 道徳学習指導案

平成30年11月16日（金）  
第2学年

## 授業改善の視点

外に出ようとしなかった少女が一人で道行く人に助けを求めることができたときの気持ちの変容を考え、話し合わせたことは、互いに支え合っていることの自覚を深め、よりよい社会をつくらうとする道徳的実践意欲や態度を育てる上で有効であったか。

## 1 主題名 「ともに生きる社会」 （内容項目 C：社会参画、公共の精神）

資料 「迷惑とは何ぞ」

（出典：「中学生の道徳2 自分を考える」廣済堂あかつき）

## 2 主題設定の理由

### (1) 学びのつながり

本主題は、学習指導要領「特別の教科 道徳」の内容「C 主として集団や社会との関わりに関すること」の「社会参画の意識と社会連帯の自覚を高め、公共の精神をもってよりよい社会の実現に努めること。」に基づいたものである。

小学校 高学年	勤労、公共の 精神	働くことや社会に奉仕することの充実感を味わうとともに、その意義を理解し、公共のために役立つことをすること。
中学校	社会参画、公 共の精神	社会参画の意識と社会連帯の自覚を高め、公共の精神をもってよりよい社会の実現に努めること。
	勤労	勤労の尊さや意義を理解し、将来の生き方について考えを深め、勤労を通じて社会に貢献すること。

小学校の高学年では、勤労と公共の精神の意義を理解し、公共のために役に立つことをしようとする意欲や態度をもつように指導している。

中学校では、小学校における指導内容を「社会参画、公共の精神」と「勤労」の2つに分けて更に発展させ、「社会参画、公共の精神」では、どのように社会に参画し、どのように連帯すべきかについて、多面的・多角的に考えを深めるように指導することが大切である。

ここでは、資料「迷惑とは何ぞ」を活用し、社会生活において互いに迷惑をかけることのないような行動の仕方を身に付けるとともに、進んで社会と関わり積極的な生き方を模索しようとする道徳的実践意欲や態度を育て、よりよい社会を実現するためにどのような行動をとったらよいかを主体的に考えさせたい。

### (2) ねらいとする道徳的価値について

生徒は今までに福祉体験学習やボランティア活動などを通して、よりよい社会を協力してつくっていかうことは大切であると理解している。しかし、現代社会ではだんだんと人と人との関わりが希薄になってきている傾向が見られ、利己主義的な考え方が社会生活だけでなく家庭生活にまで浸透しつつあるのが現状である。そのため、この現状を改善していくには、いかなる人間も互いに支え合い、協力し合っていることを自覚させ、どのように社会に参画し、どのように連帯すべきかについて多面的・多角的に考えていくことが大切である。

また、よりよい社会を実現するためには、公共の精神を育てていく必要がある。そのときに、社会生活において互いに迷惑をかけることのないような行動の仕方が、ただ迷惑をかけない生き

方ではなく、いろいろな考え方や自分と異なる価値観をもった人とも柔軟に関わりながら社会に積極的に参加していく生き方を考えさせることが大切である。そして、人間としての生き方や社会の在り方について深く考えることで、よりよい社会をつくろうとする道徳的実践意欲や態度へとつなげていきたい。

### (3) 生徒の実態 (略)

#### (アンケート結果)

今までに迷惑をかけられたことはありますか。  
(はい〇人、いいえ〇人)

今までに迷惑をかけてしまったことはありますか。  
(はい〇人、いいえ〇人)

#### 今までに迷惑をかけないようにしてきたことは、どんなことですか。(複数回答)

- 人・・・時や場所、相手のことを考えて行動する
- 人・・・ルールやマナー、約束を守る
- 人・・・きちんとした生活を送る
- 人・・・自分の意思を伝え、相手の話を聞く
- 人・・・一人で行動する、人と関わらないようにする
- 人・・・やさしく、誠実に行動する
- 人・・・責任をもって行動する
- 人・・・空気を読む
- 人・・・表情に出さず何を聞かれても大丈夫と言う
- 人・・・空欄

### (4) 資料について

筆者の三浦綾子さんが「車輪の一步」という映画を通して「人に迷惑をかけない」という生き方に非常に大きな問題が潜んでいるという「迷惑」について考察する内容である。映画では、車椅子の少女は家に閉じこもったきりで、母親も人々の冷たい視線からわが子を守るために、家の中に閉じこめていた。ある時から少女は、仲間たちに説得され、家の外に出るようになる。しかし、車椅子の人たちにとって外の世界は、トイレや階段などの多くの障害が存在した。車椅子の少女は幾度も道行く人々に自分の言葉を無視されながらも、助けを求め続けるという映画の内容である。この車椅子の少女の変容していく心の動きに着目することで、「迷惑とは何か」について深く考えることができる。そして、少女を階段の上まで運んでくれた人や知らぬ顔をして行き過ぎる人の気持ちもそれぞれ考えさせることで、世の中にはさまざまな考え方や価値観の異なる人がいることに気付かせ、その中で社会の一員としての自覚をもち、他者との関わり方を考えさせることでねらいに迫りたい。

また、外に出ようとしなかった少女が、一人で道行く人に助けを求めることができたときの気持ちの変容を多面的・多角的に考えることによって、互いに支え合っていることの自覚を深め、さまざまな人たちの中で他者と関わりながら社会へ積極的に参加していくことの大切さや難しさについての考えを深めることができると考える。

### 3 指導方針

- ・導入では、移動式ホワイトボードを使って迷惑に関するクラスのアンケート結果を分類して提示することから内容項目につなげ、本時の主題に関わる問題意識をもたせる。
- ・筆者が語る「迷惑」についての考察については、一つの意見として捉えさせるために、クラスのア

ンケート結果と併せて触れさせる。

- ・世の中にはいろいろな考え方や価値観の異なる人がいることに気付かせるため、映画「車輪の一步」を中心に、登場人物のそれぞれの思いについて考えさせる。
- ・主体的に道徳的価値について考えさせるために、中心発問の前に、世の中で「助けてくれる人」と「助けてくれない人」はどちらが多いと思うかを全員に聞くことによって、社会へ積極的に参加していくことの難しさに気付かせる。
- ・小グループでの話し合いの場や全体での意見交流の場を設定し、短冊を使って意見を出させ、全体で交流させながら他者理解を深められるようにする。
- ・少女の気持ちの変容について考える中心発問では、生徒の意見として多様な道徳的価値が出されることが予想されるが、繰り返し発問をして、いろいろな考え方や自分と異なる価値観をもった人たちの中で他者と関わりながら社会へ積極的に参加していくことの大切さや難しさについて深く考えられるようにする。
- ・本時の学習の振り返りでは、生徒の状況をより確かに把握することができるように、「今までの自分・今日学んだこと・これからの自分」の3つの視点から記入を行うように促す。

#### 4 校内研修とのかかわり

本校の校内研修主題・副主題は『進んで他者とのかかわり、よりよい生き方を追求する生徒の育成－「考え、議論する道徳」の指導の充実を目指して－』である。

この授業を通して、互いに支え合って生きていることの自覚を深めようとするものの大切さや難しさを考えながら、ともによりよい社会をつくらうとする道徳的実践意欲や態度を育てることで、社会の在り方や人間としての生き方に目を向けさせられると考える。

また、話し合いや意見交流の場で他者理解を深めさせることで、道徳的価値の理解を深め、多面的・多角的な見方や考え方へと発展させることができると考える。

#### 5 本時の学習

##### (1) ねらい

互いに支え合って生きていることの自覚を深め、ともによりよい社会をつくらうとする道徳的実践意欲や態度を育てる。

##### (2) 準備 副読本、ワークシート、掲示資料、移動式ホワイトボード、短冊、ペン

##### (3) 展開

過程	学習活動	主な発問（○基本発問、◎中心発問）と予想される生徒の反応（・） （期待される反応は_____）	時間	支援及び留意点
導入	1. アンケート結果を見て、問題意識をもつ。	○みんなが思っている「迷惑をかける」とは本当に迷惑なことでしょうか。例えば、病気やけがをすることが家族に迷惑とありますが、逆の立場でもそう思いますか。	3分	・迷惑に関するクラスのアンケート結果を提示し、問題意識をもたせる。  ・学習テーマを共有することで、生徒の意識を道徳的価値に向かわせる。
	<学習テーマ> ともに生きる社会について考えよう			

展 開	2. 資料の範読を聞く。		7分	・迷惑とはどんなことを考えながら範読を聞くように促す。
	3. 少女を階段の上まで運んでくれた人の気持ちを全体で考える。  〔*少女を階段の上まで運んでくれた人の気持ちについて、交流する。〕	○少女を階段の上まで運んでくれたのは、どんな思いからでしょうか。 ・ <u>助けてあげたい。</u> ・ <u>助けなければ後悔する。</u> ・ <u>放っておけない。</u> ・ <u>困っているときはお互い様。</u> ・ <u>人の役に立つことがうれしい。</u> ・ <u>協力することが大切。</u> ・誰かが助けなければ。 ・無視するのは、かわいそう。	4分	・自分のことよりも相手のことを優先して考え、積極的に人とかかわろうとする気持ちを共感させる。
	4. 知らぬ顔をして行き過ぎる人の気持ちをペアで話し合ってから全体で考える。  〔*知らぬ顔をして行き過ぎる人の気持ちについて、交流する。〕	○知らぬ顔をして行き過ぎるのは、どんな思いからでしょうか。 ・ <u>面倒なことにかかわりたくない。</u> ・ <u>自分のやることを優先させている。</u> ・ <u>力が足りない。</u> ・ <u>誰かが助けてくれるだろう。</u> ・ <u>人のために苦勞したくない。</u> ・ <u>人に力をかしたくない。</u> ・ <u>時間がない。</u> ・ <u>知らない人だから。</u> ・何か事情がある。	8分	・助けなかった人の気持ちを考えさせることで、積極的に人とかかわることの難しさや人間の弱さに気付かせる。 ・世の中で「助けてくれる人」と「助けてくれない人」はどちらが多いと思うかを全員に聞いてから中心発問に進める。
展 開	5. 車椅子の少女の気持ちの変容を全体で考える。 (個人⇒小グループで話し合う⇒発表)  〔*他者と議論する。 *多面的・多角的に考える。 *道徳的価値の理解を深める。〕	◎外に出ようとしなかった少女が、一人で道行く人に助けを求めることができたのは、どんな思いからでしょうか。 ・ <u>人に助けてもらうことは迷惑ではない。</u> ・ <u>人に助けてもらうことを遠慮することはない。</u> ・ <u>助けてもらうことは悪いこと(間違い)ではない。</u> ・ <u>人に助けを求めることは恥ずかしいことではない。</u> ・ <u>一人では生きていけない。</u> ・ <u>お互いに支え合って生きている。</u> ・ <u>協力し合うことが大切。</u> ・ <u>困ったときはお互い様。</u> ・ <u>助けてくれる人がいることを信じて。</u> ・ <u>嫌な思いをするかもしれないけれど、勇気を出して外に出よう。</u> ・ <u>冷たい視線を送るような人に負けてはいけない。</u>	20分	・迷惑とは何かを考えさせながら、互いに支え合いながら生きていることに気付かせる。  ・多面的・多角的な意見を全体で交流させながら他者理解を深められるようにするために、短冊に意見を書かせて発表させる。

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな場所に行きたい。</li> <li>・誰にでも助けてもらうことはある。</li> <li>・迷惑を気にしなくてもいい。</li> <li>・迷惑をかければいいじゃないかというアドバイスがあったから。</li> </ul>	
終末	6. 本時の学習を振り返る。 【*道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深める。】	○今日の授業で考えてきたことやこれまでの自分の生活を振り返ってみて感じたり考えたりしたことを書きましょう。	8分 <ul style="list-style-type: none"> <li>・書くにあたって3つの視点を掲示する。</li> <li>・何人かの生徒に発表させる。</li> </ul>

(4) 評価の視点

- ・車椅子の少女の気持ちの変容を考えることにより、互いに支え合って生きていることやともによりよい社会をつくろうとすることについて、自分との関わりで深めたか。
- ・車椅子の少女の気持ちの変容を話し合うことにより、互いに支え合って生きていることやともによりよい社会をつくろうとすることについて、多面的・多角的な見方ができていたか。

6 板書計画

外に出ようとしなかった少女が、一人で道行く人に助けを求めることができたのは、どんな思いからでしょうか。	知らぬ顔をして行き過ぎるのは、どんな思いからでしょうか。	少女を階段の上まで運んでくれた人は、どんな思いからでしょうか。	第24回 道徳 ともに生きる社会について考えよう								
<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>遠慮しない</td> <td>迷惑でない</td> </tr> <tr> <td>協力</td> <td>悪くない</td> </tr> <tr> <td>支え合い</td> <td>積極的</td> </tr> <tr> <td>相手を信用</td> <td>お互い様</td> </tr> </table>	遠慮しない	迷惑でない	協力	悪くない	支え合い	積極的	相手を信用	お互い様	面倒なことに関わりたくない。 自分を優先。 力が足りない。 誰かが助けてくれる。 人のために苦勞したくない。 時間がない。 知らない人だから。	迷惑とは何ぞい 助けてあげたい。 放っておけない。 お互い様。 役立ててうれしい。 誰かが助けなければ。 協力することが大切。 助けないと後悔する。	
遠慮しない	迷惑でない										
協力	悪くない										
支え合い	積極的										
相手を信用	お互い様										

(移動式ホワイトボード)

2年 道徳 アンケート

あなたは、「迷惑をかける」とはどんなことだと思いますか。

人・ルール（マナー）を守らないこと（犯罪、暴力、約束を破る）

人・相手の気持ちを考えずに自分勝手（わがまま）な行動をすること

人・相手を不快な気持ちにさせる

人・うるさくする（授業中のおしゃべり）

人・人任せ、何でも他人事

人・他人の世話になること、病気やけがをすること（相手を心配させること）が家族に迷惑

人・空気を読まないこと

人・相手を困らせること

人・人の邪魔をしてしまうこと

人・必要以上のおせっかいをすること（やってほしくないのに親切なことをしてくる）

人・努力しないこと

人・やる気がないこと

人・言われたことができない

## 「迷惑とは何ぞ」

2年 組 番 名前

◎外に出ようとしなかった少女が、一人で道行く人に助けを求めることができたのは、  
どんな思いからでしょうか。

●今日の授業について、今までの自分を振り返って気付いたり考えたりしたことを書きましょう。

A large, hand-drawn blue rounded rectangular frame, intended for students to write their reflections on the lesson.